

フラボバクテリウム・ヘパリナム由来のコンドロイチナーゼB、組換え型

Cat. No. NATE-0130

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 酵素学において、コンドロイチンBリアーゼ（EC 4.2.2.19）は、次の化学反応を触媒する酵素です：1,4-ベータ-D-ヘキソサミニルおよび1,3-ベータ-D-グルクロン酸ニルまたは1,3-アルファ-L-イドロノシル結合を含むデルマトン硫酸の除去的切断を行い、4-デオキシ-ベータ-D-グルク-4-エヌロン酸ニル基を含む二糖類を生成し、4,5-不飽和デルマトン硫酸二糖類（deltaUA-GalNAc-4S）を生成します。この酵素は、特に多糖類に作用する炭素-酸素リアーゼのファミリーに属します。

用途 研究試薬として（グリコサミノグリカン分解）。デルマトン硫酸の二糖およびオリゴ糖の調製のために。

別名 コンドロイチナーゼB; EC 4.2.2.19; コンドロイチンBリアーゼ; ChonB; ChnB

製品情報

種 フラボバクテリウム・ヘパリナム

由来 フラボバクテリウム・ヘパリナム

EC番号 EC 4.2.2.19

CAS登録番号 52227-83-5

分子量 54,779 Da

純度 > 逆相HPLC分析による90%。

活性 > 550 IU/mg（基質：デルマトン硫酸）

等電点 9.4 – 9.6

最適pH 活性の最適pH: 7-8; 活性のpH範囲: 5-10

最適温度 20°C – 37°C

特異性 デルマトン硫酸（コンドロイチン硫酸B）。

単位定義 1国際単位（IU）は、30°CおよびpH 8.0で、デルマトン硫酸から1.0 μmoleの不飽和オリゴ糖を1分あたり放出する酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング

包装 5 μgのバイアル

保管・発送情報

安定性 有効期限は製造日から30ヶ月で、5%の塩化ナトリウム、リン酸ナトリウム、スクロースを含む水性バッファー中で-70°Cで冷凍保存されています。